

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 セック

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中川 美和子

TEL 03-5458-7727

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,330	22.9	31	—	66	—	37	—
21年3月期第2四半期	1,082	—	△52	—	△14	—	△13	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	14.81	—
21年3月期第2四半期	△5.40	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	3,994	—	3,437	—	86.1	1,342.92
21年3月期	4,103	—	3,438	—	83.8	1,343.39

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,437百万円 21年3月期 3,438百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,820	5.7	100	10.1	180	△1.6	110	2.7	42.97

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	2,560,000株	21年3月期	2,560,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	176株	21年3月期	176株
-----------	-------------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	2,559,824株	21年3月期第2四半期	2,559,829株
--------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成21年4月以降の月別売上高は5月を除き平成21年8月まで前年同月比減少となっており、IT需要は全体的に低迷しております。加えて当社事業分野では、お客様からの価格引下げ要請が一層強まり、事業環境は、第1四半期会計期間に引き続き厳しい状況が続きました。

こうした傾向の中、当社は潤沢な商談の確保に努めるとともに経費削減に取り組んで参りました。この結果、当第2四半期累計期間の業績は、前年同期比で増収増益となりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドを「BF」と省略）別には、モバイルネットワークBFは、通信事業者向けのネットワーク管理の技術アプリケーションが堅調で、売上高は121百万円（前年同期比33.3%増）となりました。ワイヤレスBFは、端末ベンダーの開発計画がほぼ予定どおりに推移したことに加え、オープンプラットフォームのエンベデッドソフトウェアが継続し、売上高は560百万円（前年同期比76.8%増）となりました。インターネットBFは、不況の影響で開発計画の縮小や延期などにより、売上高は244百万円（前年同期比20.1%減）となりました。社会基盤システムBFは、防衛分野などの大型技術アプリケーションに環境エネルギー分野の案件が加わり、売上高は235百万円（前年同期比31.3%増）となりました。宇宙先端システムBFは、開発計画が予定どおりに推移し、売上高は145百万円（前年同期比2.3%増）となりました。また、ソリューションビジネスは、売上計上が下期になり、売上高は23百万円（前年同期比50.6%減）となりました。この結果、全社売上高に占める割合は、ワイヤレスBF、社会基盤システムBF、モバイルネットワークBFが増加し、その他のBFが減少しております。

当第2四半期累計期間の研究開発・製品開発活動では、地上デジタル放送用組込みソフトウェア（製品名：airCube）のIPTV対応機能を開発中であります。また前事業年度より継続しておりますロボットに関する独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの受託事業は、ほぼ計画どおりに進捗しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,330百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益31百万円（前年同期は営業損失52百万円）、経常利益66百万円（前年同期は経常損失14百万円）、四半期純利益37百万円（前年同期は四半期純損失13百万円）となりました。

ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	90,902	8.4	121,194	9.1
ワイヤレス	317,101	29.3	560,558	42.1
インターネット	306,123	28.3	244,572	18.4
社会基盤システム	179,404	16.6	235,523	17.7
宇宙先端システム	141,771	13.1	145,092	10.9
ソリューション	46,971	4.3	23,202	1.8
計	1,082,275	100.0	1,330,144	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ109百万円減少し、3,994百万円となりました。流動資産は、売掛金回収に加え長期預金の早期償還により現金及び預金が増加したものの、売掛金の減少により3百万円の減少となりました。固定資産は、長期預金の早期償還などにより、105百万円の減少となりました。

負債は、前事業年度末に比べ108百万円減少し、556百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少、買掛金の減少などにより流動負債が111百万円減少したことによるものであります。

純資産は、当期純利益による増加、配当金支払いによる減少の結果、前事業年度末に比べ1百万円減少し、3,437百万円となりました。自己資本比率は前事業年度の83.8%から86.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ289百万円増加して、期末残高は1,906百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は267百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益66百万円、売上債権の減少321百万円による増加、法人税等の支払101百万円による減少の結果であります。前年同期と比較して234百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は76百万円となりました。これは主に、長期預金の早期償還による増加100百万円と無形固定資産の取得による支出17百万円などによるものであります。前年同期は74百万円の支出でした。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は51百万円となりました。これは主に、配当金支払いによる支出51百万円などによるものであります。ほぼ前年同期並みの支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期会計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、通期の業績予想につきましては、平成21年8月10日の平成22年3月期第1四半期決算短信発表時に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

第1四半期会計期間より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用しております。第1四半期会計期間以降に着手した契約から、当第2四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他のプロジェクトについては完成基準を適用しております。

なお、受注製作のソフトウェア（ソフトウェアの請負契約）に係る収益の計上基準については、従来より、進行基準を適用しているため、上記会計基準及び適用指針の適用に伴う影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,906,918	1,617,202
受取手形及び売掛金	781,701	1,087,114
その他	139,010	127,145
流動資産合計	2,827,630	2,831,462
固定資産		
有形固定資産	38,621	44,068
無形固定資産	101,536	115,260
投資その他の資産		
長期預金	500,000	600,000
その他	526,311	512,840
投資その他の資産合計	1,026,311	1,112,840
固定資産合計	1,166,468	1,272,169
資産合計	3,994,098	4,103,631
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,820	42,090
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	23,368	106,933
賞与引当金	183,000	184,000
その他	132,346	142,690
流動負債合計	400,534	511,714
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,168	112,166
退職給付引当金	39,759	40,896
固定負債合計	155,927	153,062
負債合計	556,462	664,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,374,346	2,387,621
自己株式	△218	△218
株主資本合計	3,438,769	3,452,044
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,132	△13,190
評価・換算差額等合計	△1,132	△13,190
純資産合計	3,437,636	3,438,853
負債純資産合計	3,994,098	4,103,631

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,082,275	1,330,144
売上原価	801,844	995,639
売上総利益	280,431	334,504
販売費及び一般管理費	333,019	302,549
営業利益又は営業損失(△)	△52,588	31,955
営業外収益		
受取利息	5,871	4,475
受取配当金	203	155
補助金収入	25,713	27,891
その他	8,016	5,932
営業外収益合計	39,806	38,454
営業外費用		
支払利息	590	425
為替差損	—	2,851
不動産賃貸費用	1,511	863
営業外費用合計	2,101	4,140
経常利益又は経常損失(△)	△14,884	66,269
特別損失		
固定資産除却損	42	—
特別損失合計	42	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△14,926	66,269
法人税、住民税及び事業税	4,577	19,012
法人税等調整額	△5,668	9,335
法人税等合計	△1,091	28,347
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,834	37,921

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	643,008	691,517
売上原価	411,213	501,774
売上総利益	231,795	189,742
販売費及び一般管理費	145,841	146,960
営業利益	85,954	42,781
営業外収益		
受取利息	3,631	2,379
補助金収入	9,693	14,771
その他	3,841	2,848
営業外収益合計	17,165	20,000
営業外費用		
支払利息	348	253
為替差損	1,105	2,042
不動産賃貸費用	862	484
営業外費用合計	2,316	2,780
経常利益	100,802	60,001
税引前四半期純利益	100,802	60,001
法人税、住民税及び事業税	781	18,067
法人税等調整額	43,615	6,702
法人税等合計	44,396	24,770
四半期純利益	56,405	35,231

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△14,926	66,269
減価償却費	46,511	37,696
固定資産除却損	42	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,000	△1,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	4,002
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△728	△1,137
受取利息及び受取配当金	△6,075	△4,630
支払利息	590	425
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,267	321,028
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,632	△16,270
未払金の増減額 (△は減少)	△4,581	△7,837
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,667	△5,367
その他	47,136	△28,130
小計	△18,262	365,047
利息及び配当金の受取額	46,094	4,467
利息の支払額	△592	△425
法人税等の支払額	△4,242	△101,575
法人税等の還付額	10,097	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,094	267,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△3,423	△3,147
無形固定資産の取得による支出	△56,681	△17,598
投資有価証券の取得による支出	△3,001	△3,037
差入保証金の差入による支出	△11,047	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,153	76,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	110,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△110,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△48	—
配当金の支払額	△51,016	△51,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,064	△51,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	△278	△2,851
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,402	289,715
現金及び現金同等物の期首残高	1,699,990	1,617,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,607,587	1,906,918

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	金額（千円）	前年同四半期比（％）
技術サービス	モバイルネットワーク	77,507	132.5
	ワイヤレス	436,084	189.0
	インターネット	168,273	76.1
	社会基盤システム	168,695	138.4
	宇宙先端システム	100,959	114.2
	ソリューション	44,119	54.3
	合計	995,639	124.2

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期累計期間の受注状況を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
技術サービス	モバイルネットワーク	128,020	116.7	83,492	126.0
	ワイヤレス	510,061	74.6	128,466	32.6
	インターネット	265,418	73.3	94,831	61.3
	社会基盤システム	362,422	140.5	235,886	220.4
	宇宙先端システム	195,362	104.1	69,530	88.5
	ソリューション	71,819	118.6	52,948	177.4
	合計	1,533,104	92.3	665,155	80.1

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
技術サービス	モバイルネットワーク	121,194	133.3
	ワイヤレス	560,558	176.8
	インターネット	244,572	79.9
	社会基盤システム	235,523	131.3
	宇宙先端システム	145,092	102.3
	ソリューション	23,202	49.4
	合計	1,330,144	122.9

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 前第2四半期累計期間及び当第2四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社	252,600	23.3	197,024	14.8
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社	—	—	169,847	12.8
株式会社NTTデータMSE	—	—	144,161	10.8

(注) 前第2四半期累計期間のソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社及び株式会社NTTデータMSEにつきましては当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。